

【宮崎雅夫メールマガジン：VOL. 75（令和7年6月9日）】

本メールマガジンは、以下のいずれかに該当する方へ、無料で配信しております。

- ・配信をお申し込みいただいた方
- ・後援会へご入会いただいた方
- ・名刺交換等をさせていただいた方

当メルマガは、ご自由に転送いただいても構いません。ただし、選挙期間中は本メールの内容を転送することは禁止されていますので注意が必要です。

※システムの関係で送信先等が正しく表示されない現象が一部発生していますが、ご了承の程よろしくお願ひします。

今後、選挙期間中に宮崎まさおから、選挙運動用メールを送信する予定です。メール受信を希望されない方は、配信停止の申し込みをお願いします。

VOL. 75は以下の内容でお届けします。 ※活動状況は省略しています。

- ◎ 土地改良法改正をわかりやすく解説する動画を公開 参議院議員 宮崎まさお
- ◎ 農業水利施設の電気料金高騰対策
- ◎ 国土強靱化実施中期計画が閣議決定
- ◎ 各種政策情報
 - 「食料・農業・農村白書」、「森林・林業白書」、「水産白書」が閣議決定
 - 米の安定供給等実現関係閣僚会議
 - 令和6年産米の契約・在庫状況（4月末時点）
 - 水田における作付け意向
 - 新たな土地改良長期計画
 - 激動の世界を見据えたあるべき財政運営
 - 大阪・関西万博「食と暮らしの未来ウィーク」
 - 多面的機能支払交付金
 - 中山間地域等直接支払制度交付金
 - 鳥獣被害防止総合対策交付金
 - 山地災害防止キャンペーン
 - 中国向け日本産水産物の輸出再開へ前進

=====

- ◎ 土地改良法改正をわかりやすく解説する動画を公開 参議院議員 宮崎まさお

=====

本通常国会において成立いたしました「土地改良法の一部を改正する法律」につきまして、より多くの方々に

その意義や内容をご理解いただけるよう、動画「3分でわかる土地改良法改正」を制作し、私の公式ホームページおよび YouTube チャンネルにて公開を開始いたしました。

今回の法改正は、老朽化が進む農業水利施設の適切な維持管理を進めるとともに、計画的な更新や、損壊の恐れがある施設の補強、担い手のニーズに対応した基盤整備の推進を図ることを目的としています。動画では、こうした背景や制度のポイントを、短時間でご理解いただけるよう、私自身がわかりやすく解説しております。お忙しい方でも気軽にご覧いただける内容となっておりますので、ぜひ一度ご視聴いただければ幸いです。

また、現在は第二弾の動画も制作中で、6月中旬より順次公開を予定しております。引き続き、皆さまのお役に立てる情報発信に努めてまいります。

この機会に、公式ホームページの全面的なリニューアルも行い、国会での質疑内容や日々の活動報告を、より見やすく、わかりやすく整理いたしました。Facebook や Instagram などの SNS もあわせて更新を行っておりますので、ぜひそちらもご覧いただき、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

今後とも、現場の声を大切にしながら、農林水産業の振興と土地改良事業の推進に全力で取り組んでまいります。引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくご意見申し上げます。

宮崎まさお HP : <https://miyazaki-noson.jp/>

YouTube : <https://www.youtube.com/@masaochannel2865>

=====

◎ 農業水利施設の電気料金高騰対策

=====

燃料費や電気料金の高騰が続く中、地域の農業を支える農業水利施設にも大きな影響が出ています。特に用排水機場は電力消費が多く、維持管理費に占める電気料金の割合が非常に高いため、電気料金の上昇が施設運営を圧迫しているとの声を多くいただいています。

こうした現状を踏まえ、4月23日には、地方公共団体等の皆さまと共に農林水産省を訪問し、私自身も電気料金高騰対策の必要性を強く訴えました。その結果、本年6月1日から9月末日までの期間、農業水利施設の電気料金高騰分の約7割を補助する支援策が実施されることとなりました。この支援は、省エネルギー化や維持管理費の削減に取り組む施設管理者の皆さまを対象にしており、現場の負担軽減と農業インフラの安定的な運営を支えるものです。

電気料金等の上昇に苦しむ現場の声を政策に反映させることができ大変うれしく思っています。今後も皆さまの声を耳を傾け、地域農業の持続可能な発展のため、しっかりと働きかけてまいります。引き続きご意見やご要望をお寄せいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

農水省 HP : <https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/yousui/250528.html>

=====

◎ 国土強靱化実施中期計画が閣議決定

=====

6月6日に「第1次国土強靱化実施中期計画」が閣議決定されました。この計画は、気候変動に伴う激甚化・頻発化する気象災害や、切迫する南海トラフ地震などの大規模地震から国民の生命・財産・暮らしを守るため、国土強靱化の取り組みを切れ目なく一層強化することを目的としています。また、2026年度から2030年度までの5年間を対象とし、自然災害やインフラ老朽化への対策を強化するための中期的な指針と

なります。計画では、特に推進が必要とされる 114 の施策を含む全体で 326 の施策を盛り込み、総事業規模は約 20 兆円強程度と見込んでいます。

計画の主な柱として、以下の 5 つが挙げられています：

- ・防災インフラの整備・管理：5.8 兆円
- ・交通・通信・エネルギーなどライフラインの強靱化：10.6 兆円
- ・デジタル新技術の活用：0.3 兆円
- ・官民連携の強化：1.8 兆円
- ・地域防災力の強化：1.8 兆円

予算措置については、今後の資材価格高騰の影響や、災害状況、事業の進捗状況を踏まえて、弾力的に対応するとしています。詳細な情報は以下をご覧ください。

内閣官房 HP：

中期計画

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/dai1_chuukikeikaku/index.html

年次計画 https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/kihon.html

=====

◎ 各種政策情報

=====

農林水産業に関連する各種の情報です。参考にしていただければ幸いです。

※以下のアドレスからご参照ください。（外部リンク等）

○「食料・農業・農村白書」、「森林・林業白書」、「水産白書」が閣議決定

農林水産省は、5月28日に「令和6年度食料・農業・農村白書」を公表しました。今回の白書では、新たな食料・農業・農村基本計画の策定をはじめ、合理的な価格形成の推進、スマート農業技術の活用などが特集されています。国内農業を取り巻く環境変化に対応するための重点施策が示されています。

続いて、6月3日には「森林・林業白書」が公表され、初めて「生物多様性を高める林業経営と木材利用」が特集に取り上げられました。森林の多様性保全と経済性の両立がテーマです。

さらに、6月6日には「水産白書」が公表され、「海洋環境の変化による水産業への影響と対応」が特集に。気候変動に伴う海洋環境の変化と、その影響への対応策が紹介されています。

詳細は農林水産省ホームページをご覧ください。

農水省 HP：

食料・農業・農村白書 https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r6/index.html

森林・林業白書 <https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/>

水産白書 <https://www.jfa.maff.go.jp/j/kikaku/wpaper/index.html>

○ 米の安定供給等実現関係閣僚会議

6月5日、石破総理は総理大臣官邸において、「第1回 米の安定供給等実現関係閣僚会議」を開催しました。本会議は、米の需給バランスおよび価格の安定を図ることを目的に新たに設置された閣僚級の会議です。農林水産省を中心に、経済産業省、財務省などの関係省庁が連携し、米政策に関する調整や必要な対

策の決定を行っていく方針です。

第1回会合では、米の需給動向や価格情勢に関する現状認識を共有し、今後の対応策についての議論が行われました。詳細については、首相官邸の公式ウェブサイトをご覧ください。

首相官邸：

https://www.kantei.go.jp/jp/103/actions/202506/05kome_anteikyokuyuu.html
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/nousui/kome_anteikyokuyujitsugen_kaigi/index.html

○ 令和6年産米の販売・在庫状況（4月末時点）

農林水産省は、令和7年4月末時点の「令和6年産米の産地別契約・販売状況」、「民間在庫の推移」、および「米穀販売事業者における販売数量・販売価格の動向」を公表しました。民間在庫は全国で168万トンと、前年同月比で12万トン減少。内訳は、出荷段階が126万トン（同▲14万トン）、販売段階が43万トン（同+2万トン）で、このうち16.4万トンは政府備蓄米です。需要動向を踏まえ、引き続き在庫管理と価格動向に注目が必要です。

農水省 HP：<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/250530.html>
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

○ 水田における作付け意向

農林水産省は5月23日、令和7年産主食用米の作付け意向について、第2回中間的取組状況を公表しました。作付面積は主食用米及び備蓄米を含めて133.4万ヘクタールで、前年より7.5万ヘクタールの増加。34県で増加、11県は横ばい、減少は2県でした。供給不足や価格上昇を背景に、全国的に増産の動きが広がっています。今後の需給バランスに注目が集まります。詳細は以下をご覧ください。

農水省 HP：https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/s_taisaku/250523_1.html

○ 新たな土地改良長期計画

農林水産省は5月19日、「食料・農業・農村政策審議会 農業農村振興整備部会」を開催し、「土地改良長期計画案（骨子（案））」を提示しました。本会合では、農業・農村を取り巻く課題に対応するための新たな視点や、土地改良事業の基本的な方向性、今後の政策課題について議論が行われました。詳細は以下をご覧ください。

農水省 HP：<https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/nousin/bukai/R701/siryou.html>

○ 激動の世界を見据えたあるべき財政運営

5月27日、財政制度等審議会は、「激動の世界を見据えたあるべき財政運営に関する基本的考え方」を取りまとめました。

農業分野では、農業を自立した産業に転換していくため、米・水田政策については、生産において多様なニーズを的確に捉え、自立した収益構造を確立する必要とされ、また、米の安定供給の観点から、国内需給の調整弁として複数の手法を備える重要性も指摘されています。

財務省 HP：https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_fiscal_system/report/zaiseia20250527/index.html

○ 大阪・関西万博「食と暮らしの未来ウィーク」

今年の大阪・関西万博で、6月5日（木）から16日（月）までの期間に開催される「食と暮らしの未来ウィーク」にて、農林水産省が日本の農林水産業の魅力を発信するブース展示とステージイベントを出展します。

コンセプトは「農林水産業と食文化の発展は、世界をもっと豊かにつなぐ」、このコンセプトのもと、農林水産省の各部局が多彩な展示を実施。持続可能な農業、漁業、森林の取り組みや、日本各地の食文化・食材の魅力を紹介するブースやステージイベントをお楽しみいただけます。

農水省 HP : <https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/relay-the-food/index.html>

○ 多面的機能支払交付金

多面的機能支払交付金は、農業の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進するものです。

農林水産省は、令和7年度の改正のポイントや、多面的機能支払交付金をめぐる状況を発信していますので、関係者の皆様は、ぜひ最新情報をご確認ください。詳しくは、農林水産省ホームページをご覧ください。

農水省 HP : https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

○ 中山間地域等直接支払制度交付金

中山間地域等直接支払制度は、農業生産条件の不利な中山間地域等において、集落等を単位に農用地を維持・管理するための協定を締結し、農業生産活動等を行う場合に、面積に応じた一定額を交付する仕組みです。

令和7年度から始まった第6期対策では、高齢化に配慮し、より取り組みやすい制度へと見直しが行われ、新たなスタートを切っています。農林水産省では、制度内容をわかりやすくまとめたパンフレットを発信しています。関係者の皆様は、ぜひ最新情報をご確認ください。詳しくは、農林水産省のホームページをご覧ください。

農水省 HP : https://www.maff.go.jp/j/nousin/tyusan/siharai_seido/index.html

○ 鳥獣被害防止総合対策交付金

鳥獣被害防止総合対策交付金は、市町村が作成する「被害防止計画」に基づき、農林水産業などに被害を及ぼす鳥獣の捕獲や被害防除、生息環境管理などの取組を総合的に支援する制度です。

農林水産省は、令和7年度の改正概要や支援内容を整理した資料を発信しています。関係者の皆様は、制度の最新情報をぜひご確認ください。詳しくは、農林水産省ホームページをご覧ください。

農水省 HP : <https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/yosan/attach/pdf/yosan-171.pdf>

○ 山地災害防止キャンペーン

5月20日（火）から6月30日（月）までの間、「山地災害防止キャンペーン」が行われます。山や斜面の多い地域では、梅雨や台風の季節になると、土砂崩れや地すべりといった山地災害の危険が高まります。

このキャンペーンでは、山地災害のリスクを知り、避難の準備を進めるための情報を発信しています。自宅周辺の危険箇所を確認したり、防災グッズを見直したりするきっかけにぜひご活用ください。いざというとき、大切な

命を守るように、この機会に、ご家族やご近所の方とも防災について話し合ってみましょう。

農水省 HP : <https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/tisan/250516.html>

○ 中国向け日本産水産物の輸出再開へ前進

ALPS 処理水の海洋放出を受けて停止されていた日本産水産物の対中輸出について、5月28日に北京で開催された第4回日中技術協議において、両国は輸出再開に必要な技術的要件で合意しました。

昨年9月には、IAEAの枠組みに基づくモニタリング実施などを含む「共有された認識」が日中間で確認されており、これまで3回の協議が重ねられてきました。今後は中国側での必要な手続を経て、輸出再開が見込まれています。

農水省 HP : https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kisei/250530.html